

「認知症家族介護者の集い」

を開催

3月15日（木）に耶馬溪公民館にて認知症家族介護者の集いを開催しました。今年度では2回目の開催となります。今回は、公益社団法人認知症の人と家族の会大分県支部の方々と一緒に開催しました。

認知症家族介護者の集いは認知症の方を在宅で介護している方、またこれまで介護してきた経験のある方が参加し、介護における悩みや苦勞、そして工夫していることなどを話す場です。同じ経験をしている仲間と交流し、互いに支え合える関係構築を目指しています。

今回は集いの前に大分県認知症介護指導者として活躍されている特別養護老人ホーム悠久の里の酒井久美子先生による講話を行い、認知症の方を介護する上でのご本人への寄り添い方を学びました。また、介護するうえでのアドバイスもいただきました。

参加者の皆さんからは、「普段、介護をしていて家から出ることができないので、このような機会に参加できて良かった。」「話をすることができて良かった。また参加したい。」などの感想がありました。



↑酒井久美子先生による講話の様子

演題「記憶に残るのは“人の心”

～認知症の人の「困りごと」探しが介護の秘訣～

↓介護者と別れて、別室で職員と交流している様子。

お茶を飲みながら、トランプなどしました。



「認知症家族介護者の集い」を開催しました。

9/10(日)中津市山国支所にて、由布市の老人保健施設健寿荘、施設長の増井玲子先生を講師に迎え、介護者の方と昼食をとりながら日ごろの介護についての苦労や介護するうえで成功した方法などの話をし、帰るころには気持ちがあほぐれていました。

「認知症家族介護者の集い」は今後も旧下毛地区で開催する予定ですのでご希望がありましたら最寄りの中津市高齢者相談支援センター社協までご連絡ください。

「認知症家族介護者の集い」とは在宅で介護されている方々が集まり、同じ悩みを持つ仲間として、介護の大変さ、辛さ、介護する中での工夫等を話す場や、改めて認知症について学習する場のことで中津市地域包括支援センター社協が行っている事業です。



「認知症家族介護者の集い」を開催しました。

「認知症家族介護者の集い」とは在宅で介護されている方々が集まり、同じ悩みを持つ仲間として、介護の大変さ、辛さ、介護中での工夫等を話す場や、改めて認知症について学習する場のことで中津市地域包括支援センター社協が行っている事業です。

3/17（金）市内のグループホームの見学の後、昼食をとりながら、介護者の方と包括支援センター職員とで日ごろの介護についての苦労や介護するうえで成功した方法などの話をし、帰るころには気持ちがあほぐれていました。

「認知症家族介護者の集い」は今後も旧下毛地区で開催する予定ですのでご希望がありましたら最寄りの中津市高齢者相談支援センター社協までご連絡ください。

